



2026年5月8日

各位

会社名 日本プラスチック株式会社
代表者名 代表取締役社長 時田 孝志
(コード番号 7291 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 経営企画本部長 青木 智彦
(TEL. 0544-58-9080)

特別損失の計上及び通期連結業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）において特別損失を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2026年3月期の通期連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（連結・個別）の計上について

(1) 内容

当社は、一部の国内拠点において、市場環境の変化により、収益性が低下し、短期間での回復が困難であると判断したため、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。これに伴い減損損失 393 百万円を特別損失に計上しております。内訳は富士工場 259 百万円、伊勢崎工場 133 百万円であります。

(2) 業績に与える影響

上記の特別損失の計上による業績への影響につきましては、本日公表の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

2. 2026年3月期 通期連結業績予想値と実績値の差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|----------------|--------------|--------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 113,000 | 百万円 2,400 | 百万円 1,600 | 百万円 1,300 | 円銭 68.66 |
| 実績値（B） | 114,861 | 2,647 | 2,499 | 2,012 | 106.22 |
| 増減額（B－A） | 1,861 | 247 | 899 | 712 | — |
| 増減率（％） | 1.6 | 10.3 | 56.2 | 54.8 | — |
| （ご参考） 前期実績（2025年3月期） | 120,591 | 2,772 | 2,006 | 56 | 2.97 |

(差異の理由)

売上高は、為替影響による増収はあったものの、得意先の想定以上の減産影響等と相殺され、概ね前回発表予想と同水準となりました。営業利益は、労務費・経費高騰分に対する販売価格転嫁の進展等により前回発表予想を上回りました。経常利益は、為替差益の計上等を受けて前回発表予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失の計上はあったものの、経常利益の上振れに加え、製品保証引当金戻入額や投資有価証券売却益の計上等を受けて前回発表予想を上回りました。

以 上